

平成 29 年度前期自動車アセスメントの評価結果を公表します！

～自動車アセスメントの結果を活用して、より安全なクルマを選びましょう～

自動車の衝突安全技術や被害軽減ブレーキ等の予防安全技術の安全性能評価について、平成 29 年度前期に試験を実施した車種の評価結果が今般まとまりました。衝突安全性能評価では、マツダ「CX-5」とトヨタ「C-HR」の 2 車種が最高ランクであるファイブスター賞（5★）を受賞し、予防安全性能評価では 8 車種中 7 車種が「ASV++」を獲得しました。

<平成 29 年度前期自動車アセスメント評価結果のポイント>

●衝突安全性能評価（208 点満点）～衝突時の乗員や歩行者の安全性を評価～（別紙 1 参照）

- 乗用車 3 車種・軽自動車 1 車種の計 4 車種の評価を実施
- マツダ「CX-5」とトヨタ「C-HR」の 2 車種が衝突安全性能評価の最高ランクであるファイブスター賞（5★）を受賞

（得点順）

自動車メーカー	車種	評価
マツダ	CX-5	★★★★★
トヨタ	C-HR	★★★★★
トヨタ	ルーミー*	★★★★
スズキ	ワゴン R	★★★★

*SCA（サイドカーテンエアバッグ）付の車種と SCA 無の車種の 2 台の試験を実施しています。SCA 付の車種は一部の試験項目において 5★獲得の必要条件を満たしていないことから 4★となっています。



自動車が衝突した時の乗員や歩行者の安全性（200 点）及びシートベルトの着用警報装置（8 点）を 5 段階評価（1★～5★）し、208 点中 170 点以上となった場合、ファイブスター賞（5★）を授与します。

●予防安全性能評価（79 点満点）～事故を未然に防ぐ技術を評価～（別紙 2 参照）

- 乗用車 7 車種・軽自動車 1 車種の計 8 車種の評価を実施
- 平成 29 年度より新たに「車線逸脱抑制装置」の評価を開始
- 8 車種中 7 車種が「ASV++」を獲得

（自動車メーカー五十音順）

自動車メーカー	車種	評価
スズキ	ワゴン R	ASV++
スバル	レヴォーグ	ASV++
トヨタ	C-HR	ASV++
トヨタ	ルーミー	ASV+
日産	ノート	ASV++
ホンダ	フィット	ASV++
マツダ	CX-5	ASV++
三菱	アウトランダー-PHEV	ASV++

※各装置はドライバーを補助するシステムであり、万能ではありません。気象条件や周囲の環境、路面状態によってはシステムが作動しない場合や十分な効果を発揮しない場合があります。

○評価結果の詳細については、以下のホームページでもご覧いただけますのでご参照ください。

独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA）<http://www.nasva.go.jp/mamoru/index.html>



【お問い合わせ先】

自動車局 技術政策課 笹本・井上・水沼
電話：03-5253-8111（内線 42253）
直通：03-5253-8591
FAX：03-5253-1639

自動車アセスメント事業とは

国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA）では、自動車等の安全性能の評価・公表を行うことによって、車に乗る人が安全な車選びをしやすいように、そして車を作るメーカーのより安全な車の開発を促進するために自動車アセスメント事業を実施しています。

自動車アセスメントは、予防安全性能評価（被害軽減ブレーキのような事故を未然に防ぐ技術の評価）、衝突安全性能評価（衝突時の乗員や歩行者の安全性を評価）及びチャイルドシート安全性能評価（前面衝突時のチャイルドシートの安全性等々を評価）を行っています。

是非とも、車選びの際の参考としてください。



（対歩行者被害軽減ブレーキ試験の様子）



（予防安全性能・衝突安全性能・チャイルドシートの各評価結果のパンフレット）



（前面衝突試験の様子）



（予防安全性能評価マーク）



（衝突安全性能評価
ファイブスター賞マーク）

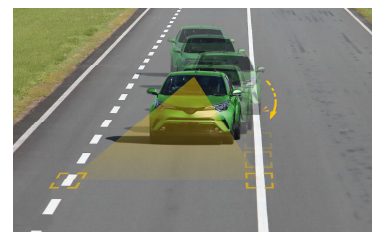


（ISO-FIX チャイルドシートマーク）

平成 29 年度新たに評価を開始した「車線逸脱抑制装置」について

車線逸脱抑制装置とは、自動車のカメラが車線の位置を認識して、車両が車線内を維持するようブレーキやハンドルにより車両の動きを制御したり、車線からはみ出しそうになった場合やはみ出した場合に、車両を車線内に戻そうとする装置です。

自動車アセスメントの試験では、車線逸脱量等を評価します。



（車線逸脱抑制装置のイメージ）